

フォルトツア松本Jr 初V

少年サッカー・カガミ杯

タイムス 主催 中信勢の健闘目立つ

第25回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ(市民タイムス、松本市サッカー協会)は14日、松本平広域公園総合技場アルウィンと芝生グラウンドで準々決勝以上の8試合が行われた。決勝戦はフォルトツア松本Jr(松本市)が昭和FC(長野市)を1-0で下し、初優勝を収めた。(小岩井貴之)

は完全に相手が上だった。数少ないチャンスをものにできたことが勝利に結びついた」と振り返った。

3位決定戦は、松本山雅FC U-11(松本市)が松本清水FC(同)を1-0で破った。最優秀選手賞はフォルトツア松本Jrの田中宏輝選手が、優秀選手賞は昭和FCの新井光選手が受賞した。今大会は中信勢がベスト8の半数を占め、準々決勝の4試合中、3試合が1-0の接戦だった。

5年ぶりに上位4チームに3チームが入賞する健闘を見せた。閉会式で、大会



白熱した試合が繰り広げられた(フォルトツア松本Jr-昭和FC)

▽準々決勝
昭和FC 1-0 リュシオカリスボ
フォルトツア松本Jr 1-0 岡谷東部FC

▽準決勝
松本山雅FC U-11 4-0 小布施町スポーツ少年団サッカー部

PK 5-3
松本山雅FC U-11 3-0 松本清水FC

▽3位決定戦
松本山雅FC U-11 1-0 松本清水FC

▽決勝
フォルトツア松本Jr 1-0 昭和FC

フォルトツア松本Jrは前後半を通じてボールを支配した昭和FCの猛攻に、ゴール間際の防戦を強いられた。後半、センター付近から相手守備陣の背後へ出したボール

をFW二木七翼(なつ)が蹴り込み先制した。終了間際も、ゴール前でフリーキックを与えるチャンスを守り切り、1-0で逃げ切った。利川監督(39)は「試合内容で

5年ぶりに上位4チームに3チームが入賞する健闘を見せた。閉会式で、大会



準優勝の昭和FC



3位決定戦を制した松本山雅FC U-11



4位に入賞した松本清水FC

フォルトツア松本Jrは初めて3回戦を突破した勢いに乗り優勝を果たした。利川監督は勝利を喜びながらも「走り負けたら負けだと呼び掛け、選手たちがそれぞれの局面で頑張ってきた結果」と振り返った。

初優勝を果たしたフォルトツア松本Jr

最後まで走り抜く フォルトツア松本Jr

覚悟した」と話す。FW二木七翼(開智小4年)が後半にシュートを決めて辛くも勝利した。

主方の5年生は10月の北信越新人戦長野県大会で優勝し、今月20、21日に富山県で開かれる北信越大会に県代表として出場する。利川監督は今大会を通じ、相手チームのプレッシャーの強い試合では、各選手にボールを「止める」「運ぶ」といった基本動作の乱れが生じる欠点が見えたといい、「個人の技術をさらに磨きたい」と話していた。(小岩井貴之)

山雅の2選手 子供120人指導

第25回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップの大会終了後、アルウィンで「ミニサッカークリニック」が開かれた。県内8チームの約120人が参加し、松本

山雅FCのDF大島翼選手(26)とMF高沢尚利選手(26)から、基本的な技術を教わった。写真。

大島選手は子供たちに「思ったところへパスを送ったり、ボールを止めたりする技術が大切」と話して、手本を見せながら指導した。選手と子供がパスをやり取りする場面もあり、子供たちは二人のパスのスピードに驚きながら、熱心にこつを学んでいた。(小岩井貴之)



山雅FCのDF大島翼選手(26)とMF高沢尚利選手(26)から、基本的な技術を教わった。写真。

(小岩井貴之)



初優勝を果たしたフォルトツア松本Jr

最後まで走り抜く フォルトツア松本Jr

覚悟した」と話す。FW二木七翼(開智小4年)が後半にシュートを決めて辛くも勝利した。



山雅FCのDF大島翼選手(26)とMF高沢尚利選手(26)から、基本的な技術を教わった。写真。

(小岩井貴之)